

これからの上下水道システム

Future System Technologies for Water and Sewage Treatment

地球温暖化をはじめとする環境問題は、20世紀から今世紀にかけての人類社会のもっとも大きな宿題となっています。わが国としても世界に先駆けて地球と共生する環境調和型社会を作りあげることで国際的に貢献することが、これから持続可能な社会を目指すうえで望ましい方向性だと考えます。

当社も、「かけがえのない地球」を健全な状態で次世代に引き継いでいくことが社会の一員としての基本的責務である、という認識に立って、環境づくりに貢献するための施策を企業経営の根幹に据え、資源の有効利用や化学物質の管理強化などの具体的な行動基準を定めるとともに、これらの活動を可能とする技術の革新を続けているところです。

古くから村や町は水のあるところに作られてきましたが、環境調和型社会では、生命をはぐくむ上水道から都市の静脈機能である下水道までが大きなサイクルとして円滑に流れる必要があります。当社は、わが国の都市基盤整備の展開とともに、電動応用システムや受配電・制御システムに始まり、計算機を応用した監視制御システムからセンシングやシミュレーションまで、多くの技術開発を進めてきました。これらの技術開発により、自然界から都市のすみずみまでダイナミックに動く水の量と質を確実にとらえ、現況を刻々と知らせることで社会インフラストラクチャの機能確保の要求に応えてきました。

これからは一歩進んで、水の現況がどうあるかの情報に基づいてどう考え、望ましい方向で運用していくかの知恵が問われていますが、そういった人の判断を支えるところで、当社が培ってきたシステム技術が役にたつことを期待しています。

これまで都市づくりへの参画には、製品などを通じて量的、質的に機能させることが求められてきましたが、環境調和型社会では、「どのように」機能させるかが肝心なことになってきました。当社もこの社会的な取組みに少しでも参画し貢献できるよう、メーカーの域を超えて、総合的なソリューションを提供するサービス企業を目指していきたいと考えます。



本藤 幸次郎
HONDO Kojiro